JTUC
日本労働組合総連合会
山梨県連合会（略称 連合山梨）
No,425 2026.11.5

れんごう YAMANASHI

安心社会へ　果敢にアクション！　～広げよう「理解・共感・参加」の輪～

10/23 FRI 連合山梨 第38回年次大会を開催



連合山梨は10月23日(金)YCC県民文化ホールにおいて、第38回年次大会を開催し、2026～2027年度の運動方針補強と、新たな役員を承認・決定し新年度のスタートを切りました。杉原会長による挨拶の後、山梨県知事をはじめとするご来賓の皆さまから挨拶を頂戴しました。

最初に、2026年度活動報告・財政報告・会計監査報告が承認された後、剰余金処分(案)が承認されました。議事では、第1号議案「2026～2027年度運動方針補強(案)」、第2号議案「2027年度予算(案)」が順番に提案され、代議員からの意見要望に対する答弁が行われた後、満場一致で承認されました。そして、第3号議案「役員の選出」、第4号議案「特別決議」が承認された後、大会スローガンである「安心社会へ　果敢にアクション！～広げよう「理解・共感・参加」の輪～」および、大会宣言が採択されました。最後に新任役員の谷亀執行委員からの挨拶の後、杉原会長の音頭による団結ガンバローを三唱して、大会を締めくくりました。


新任挨拶をする
谷亀執行委員

杉原会長挨拶（要旨）



【自然災害への対応】

近年、全国各地で、地震や豪雨災害が、相次いで発生している。

災害は、生活基盤だけでなく、雇用や地域経済にも、大きな影響を及ぼす。

私たち連合山梨も、助け合いと連帯の精神のもと、被災地支援や防災・減災の取り組みを進め、組合員と地域社会を守る役割を、果たしていく。

【現下の情勢と賃上げについて】

物価上昇による家計への負担が続く中、人手不足や少子高齢化など、働く人を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にある。

一方、2026春季生活闘争では、連合全体の最終集計で、賃上げ率が、全体で5.01%、中小組合でも4.69%となった。これは、労働組合が、賃上げの必要性を訴え、粘り強く交渉を積み重ねてきた成果である。

しかし、その成果が、すべての働く仲間に、行き渡っているわけではない。企業規模や地域、雇用形態による賃金格差は、依然として、大きな課題となっている。

また、山梨県の最低賃金は、現在の時間額1,052円から、61円引き上げられ、11月1日から、1,113円となる。最低賃金の引き上げは、働く人の賃金水準を底上げする、重要な取り組みである。今後は、物価上昇を上回る賃金改善を進め、働く人が、生活の向上を実感できるようにしていく必要がある。

連合山梨としても、賃上げノルム、最低賃金の引き上げ、格差是正に取り組み、誰もが安心して働き、暮らしの向上を実感できる社会の実現に向けて、全力で取り組んでいく。

【組織拡大・組織強化について】

2026年度の連合山梨の組織状況は、組合数に増減がなかった一方、組合員数は、前年度から450名減少した。この現状を真摯に受け止め、組合員の減少に、歯止めをかけなければならない。

労働組合の役割は、賃金や労働条件の改善だけではない。働く人の声を集め、仲間と支え合い、より良い職場と社会をつくることである。

特に、若い世代や、中小企業で働く仲間、非正規雇用で働く仲間に、労働組合の必要性と存在意義を、伝えていくことが重要である。

組織拡大は、一部の担当者だけの課題ではない。各構成組織が主体的に取り組み、経験や情報を共有しながら、連合山梨全体で進めていく必要がある。

新しい仲間を迎えるとともに、組合員一人ひとりの声に耳を傾け、安心して活動できる組織づくりを、進めていく。

【ジェンダー平等と多様性の推進について】

性別や年齢、障がいの有無、雇用形態などにかかわらず、誰もが尊重され、能力を発揮できる社会を、実現しなければならない。

女性の参画促進、仕事と育児・介護の両立支援、ハラスメントの防止など、誰もが安心して働き続けられる職場環境の実現に向け、取り組みを進めていく。

【政治への取り組みについて】

賃金、雇用、社会保障、子育て支援、教育、地域公共サービスなど、私たちの暮らしは、政治と深く結びついている。だからこそ、働く現場の声を政治に届け、政策の実現につなげる、労働組合の役割は重要である。

そして、2027年には、統一地方選挙が予定されている。地方自治体の政策は、地域の雇用や福祉、子育て、教育、公共交通など、私たちの暮らしに直結する。

人口減少や地域経済の活性化といった課題に向き合い、誰もが安心して暮らし続けられる山梨をつくるためにも、地方政治の役割は、極めて重要である。

連合山梨としても、統一地方選挙を重要な機会と捉え、働く者・生活者の立場に立った政策の実現に向けて、組織内外の連携を強化するとともに、政策協議や政治への働きかけを、進めていく。

引き続き、働く人の声を政治に反映させ、誰もが安心して働き、暮らせる社会、そして、活力ある地域づくりの実現に、全力で取り組んでいく。

【結び】

私たちを取り巻く環境は、大きく変化している。目指すべき方向は、変わりない。

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、労働組合が、職場になくてはならない存在であるとともに、地域社会からも必要とされる存在であり続けることが、大切である。

本日の大会が、連合山梨運動のさらなる前進につながる、実りある大会となることを、期待している。

働く仲間の未来のために。

山梨の未来のために。

皆様と力を合わせ、ともに前へ進んでいきたい。

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189
URL. http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/
E-mail. info@yamanashi.jtuc-rengo.jp
発行人 宮下竜三

RENGO_YAMANASHI　Facebook　Homepage

第38回年次大会 代議員発言及び答弁(要旨)

第1号議案 2026～2027年度運動方針補強(案)

日教組	久保田 代議員

Q:政治活動の強化と各級選挙への具体的な取り組みについて



第10回政治アンケートから明らかになった、組合員の政治への関心や選挙への参画に関する課題は何か。また、その課題を具体的な改善につなげるため、どのような対策を講じていくのか。さらに、来年４月の統一地方選挙をはじめとする各級選挙に向け、政治フォーラムを通じた議員との連携強化や、推薦議員・友好議員との関係づくり、加盟組織の主体的な活動をどのように推進していくのか、具体的な方針と行動計画を伺います。

答弁	宮下 事務局長



第10回政治アンケートでは、構成組織・単組ごとの取り組み状況に差があることや、組合員の政治への関心、参加意識が十分に高まっていないことが課題として明らかになりました。今後は、構成組織との課題共有や職場での対話、広報活動を通じて、政治への理解と関心を高めていきます。

また、連合山梨政治フォーラムを軸に、推薦議員との意見交換や支援政党との連携を強化するとともに、連合山梨・構成組織・地域協議会が一体となって、候補者の擁立・推薦や職場・地域での活動を推進していきます。組織全体で支え合いながら、政治活動の強化に取り組んでいきます。

UAゼンセン	成澤 代議員

Q:北朝鮮による日本人拉致問題の早期全面解決に向けた署名活動への協力について



北朝鮮による日本人拉致問題の早期全面解決に向け、問題解決への社会的な関心を高め、すべての拉致被害者の帰国を実現するため、署名活動への協力を要望します。

答弁	宮下 事務局長

拉致問題は、被害者ご本人やご家族の人権に関わる重要な問題であり、早い全面解決が求められているものと認識しております。署名活動への協力につきましては、署名の趣旨や実施方法、関係団体との連携などを確認するとともに、連合本部の方針も踏まえ、構成組織との調整等、組織内で検討させていただきたいと考えております。

運輸労連	米山 代議員

Q1:産業をまたいだ適正なコスト負担と生産性向上の実現について



運輸業界では、賃金引上げが進む一方、他産業との賃金格差や長時間労働、人手不足などの課題が依然として深刻です。物流を持続可能なものとするためには、運輸業界に負担が集中する構造を改め、サプライチェーン全体で適正なコストを負担し、生産性向上と処遇改善につなげる必要があります。産業横断的な課題として、積極的な働きかけを要望します。

Q2:「県への提言」における意見集約の取り扱いについて

各産別から提出された意見について、提言への反映状況や不採用となった理由・背景が十分に共有されていないため、今後の意見集約や要求内容の検討が困難となっています。各産別が今後の取り組みに生かせるよう、提出意見の採用・不採用の結果とその理由を、書面でフィードバックすることを求めます。

答弁	宮下 事務局長

A1: 運輸業界の賃金水準や労働環境の改善には、事業者の自助努力だけでなく、荷主企業を含むサプライチェーン全体で適正なコストを負担し、価格転嫁を通じて賃上げの原資を確保することが重要と認識しています。

A2: 県への提言は、各産別からの意見を踏まえ、県に求めることの妥当性や重要度、実現可能性、要求全体の整合性や優先順位などを考慮し、委員会で総合的に判断しています。すべての意見を反映することは難しいものの、包括的に提言へ盛り込んでいる場合もあります。今後は、各産別が要求内容の検討に生かせるよう、委員会での議論や判断の背景を含め、情報共有のあり方を引き続き検討していきます。



連合山梨は
深沢健吾(ふかさわけんご)を
応援しています

9/29(TUE) 山梨県への「政策制度要求と提言」

連合山梨は、9月29日(火)に山梨県に対し、2026年度「政策・制度要求と提言」を提出しました。

今回の提言は、働く者・生活者の視点から、構成組織や各委員会等から寄せられた現場の声を踏まえ、県民生活や地域社会が抱える課題を整理し、①経済・雇用・労働政策、②くらし・福祉・交通政策、③教育政策、④環境・災害対策の4分野・21項目に取りまとめました。

作成にあたっては、昨年度の山梨県からの回答や、その後の山梨県の取り組み状況を踏まえ、提言内容の必要性や現状との整合性を確認しながら、内容の見直しと重点化を図りました。また、国や市町村との役割分担も意識し、山梨県に期待する役割や取り組みについて整理しました。



提出にあたり、杉原会長より山梨県の取り組みに対する敬意とともに、今年度の最低賃金の引上げに向けた実態調査・分析や、中小・小規模事業者への支援策の検討など、山梨県の取り組みに対する感謝を述べました。

今後も、山梨県との連携を深めながら、現場の声を県政に届け、安心して暮らし、働き続けることのできる山梨県の実現に向け、連合山梨として取り組みをより一層進めていきます。

副事務局長　小川 直人

10/8(THU) 2026確闘勝利！ 自治労山梨県本部・対県共闘会議・連合山梨官公部門合同総決起集会


挨拶する原 対県共闘会議議長

10月8日(木)、舞鶴城公園南広場において、約400人の組合員が結集し、自治労山梨県本部・対県共闘会議・連合山梨官公部門・合同総決起集会が開催されました。

冒頭、原 対県共闘会議議長(山教組)は、「県人事委員会勧告が10月中旬に発出される見込みとなっている。本勧告が県下の中小地場賃金へ多大な影響を及ぼすことから、賃上げにより個人消費を下支えすることで、県内経済の好循環を目指していく。県人事委員会に対して、月例給・一時金の引上げで公民較差を完全解消し、物価高騰に追い付く賃金水準を求め、賃金・労働条件の改善を私たちの手で勝ち取っていこう」と訴えました。



集会スローガン

- **物価高に対抗できる給料引き上げの実現**
- **ボーナスを引上げ、期末手当に全額分配**
- **人員を増やし、ゆとりある職場環境の実現**
- **非正規職員の処遇の改善**
- **安心して働ける高齢期雇用制度の実現**

松木対県共闘会議事務局長(自治労)による情勢報告後、山教組泉小分会の溝口さんと自治労韮崎市職の小林書記長からの決意表明が行われ、「2026県人事委員会勧告期の取り組みと賃金確定闘争を全力でたたかっていく」との集会決議が満場一致で採択されました。

最後に、集会スローガンのシュプレヒコールを行って締めくくりました。

官公部門連絡会　副議長　松木 友幸

10/2(FRI) 2026連合山梨 政治フォーラム研修会を開催



10月2日(金)ジットプラザ甲府において、71名参加のもと政治フォーラム研修会を開催しました。

開会にあたり、連合山梨の杉原会長が挨拶に立ち、物価上昇や人口減少、人手不足など働く者や生活者を取り巻く厳しい環境に触れ、「これらの課題解決には政治や政策との連携が不可欠であり、現場の声を政策の場に届けることが重要。学びや議論を通じて課題を共有し、より良い地域社会の実現につなげたい」と呼びかけました。


杉原会長

続く第一部の特別講演では、連合本部政治センター事務局長の山本昌弘氏より「私たちの暮らしと政治～第21回統一地方選挙版～」と題し、最新の政治情勢や連合本部の取り組み方針について分かりやすく解説いただきました。


山本連合本部
副事務局長


(株)JX通信社
米重代表取締役

第二部では、株式会社JX通信社　代表取締役の米重克洋氏をお招きし、「"ネット地盤"が変える選挙の姿、データで読み解く世論の変化」をテーマにご講演いただきました。

講演では、電話とネットを組み合わせたハイブリッド調査による世論分析をはじめ、スマホ中心の情報空間への移行によって「ネット地盤」の有権者が増えている最新動向が紹介されました。また、偽・誤情報の拡散リスクといった情報空間の課題に対応しつつ、無党派層・現役世代に届く政策発信とデジタル・アナログ双方を駆使した組織戦の重要性が強調されました。

本研修会を通じて、政治と暮らしの関わりや新たな情報空間における組織活動のあり方を再認識する有意義な機会となりました。

副事務局長　船渡 義昭

10/5(MON) 2026 防災・減災研修会

10月5日(月)、連合山梨は労働者福祉協議会と共同で「2026防災・減災研修会」を開催しました。

連合山梨では、これまでも被災地復興支援をはじめ、防災・減災に向けた取り組みに継続的に着手してまいりました。近年頻発する自然災害に備え、構成組織組合員の方々や地域の皆様の防災力向上に資することを目的として、本研修を実施しました。



当日は午前中に、気象科学館を訪問。気象災害が発生するメカニズムや、最新の防災情報の活用方法について見識を深めました。

午後からは、東京消防庁 立川防災館へ移動し、地震体験、煙体験、およびVR体験(火災・地震・豪雨の各コース)を行いました。地震体験では激しい揺れの中で身を守る初期行動や発災後の安全確保(火の元確認や避難経路の確保)を学び、煙体験では、充満する煙の中で姿勢を低く保つ実践的な避難行動を講習・体感しました。あわせて誘導灯(非常口表示)の位置を確認し、「表示のない扉は開けず、誘導に従い一刻も早く屋外へ避難する」鉄則を再確認しました。さらにVR体験では、臨場感あふれる映像と振動を通じて災害現場の猛威を擬似体験し、事前の備えがいかに重要であるかを痛感しました。実際の災害に限りなく近い環境下で体験・見学を行ったことで、発災直後のパニックを防ぎ適切に行動するための対応力や、平時からの日常的な備えの重要性を再認識する非常に貴重な機会となりました。





今回の研修で得られた学びや「自助・共助・公助」の意識を今後の取り組みに活かし、連合山梨は引き続き各種研修会や支援活動を通じて、働く仲間とその家族の安全確保、ならびに地域と連携した防災・減災意識の醸成に努めてまいります。

副事務局長　船渡 義昭

10/7(WED) 2026年度 交通・運輸部門連絡会 研修会を開催



10月7日（水）、労農福祉センターにおいて、交通・運輸部門連絡会研修会を開催し、26名が参加しました。今回は「リニア山梨県駅・駅前まちづくりについて」をテーマに、甲府市リニアプロジェクト推進課の菊地原氏を講師にお招きし、甲府圏域を対象としたリニアを活かしたまちづくりの考え方やリニア駅前のまちづくりの検討・整備状況などについて説明を受けました。

研修では、駅周辺の道路整備や公共交通、バス・タクシー、駐車・送迎、物流など、交通・運輸の現場に関わる課題について意見を交わしました。また、観光客の安全な移動や災害時の対応、地域で暮らす住民の利便性、将来の人材確保など、リニア駅の整備を地域全体の課題として捉えることの重要性を確認しました。

リニア駅の整備は、山梨の人の流れや産業、暮らしに大きな影響を与える取り組みです。私たちも交通・運輸の現場を担う立場から、行政や関係機関と意見を交わしながら、これからの地域交通とまちづくりについて考え、提案する取り組みを引き続き進めてまいります。

交通運輸部門連絡会　議長　堀内 直英

10/13(TUE) 女性委員会 研修会「プリザーブドフラワー体験交流会」開催



10月13日（火）、労農福祉センターにて女性委員会主催の「プリザーブドフラワー体験交流会」を開催し、13名の皆さまにご参加いただきました。

日頃の忙しさを忘れて心身ともにリフレッシュし、ゆとりある時間を過ごしてもらおうと企画した今回の交流会は、ハッピープリンセチア　桐原由美子先生をお迎えし、かわいいうさぎの花器にピンクの薔薇などを取り入れた素敵な作品づくりに挑戦しました。苦戦しながらもお互い助け合いながら、和気あいあいと楽しく作ることができました。

組合員の皆さまと共に素敵な時間を過ごし、あたたかい交流を深めることができ大変意義深いひとときとなりました。今後とも女性委員会の活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

事務局担当　深野 和代

連合山梨 ふれあい基金カンパ

愛のカンパ 募集

連合「愛のカンパ」活動の取り組みと連動して、今年も「連合山梨ふれあい基金カンパ」に取り組みます。各構成組織、地域協議会のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

集約 2027年1月13日（水）

※連合本部報告が「2027.1.29」であり、この時点の集約結果を2/4の連合山梨第17回執行委員会で報告し公開させていただきます。

集　約　各構成組織での取り組みが終了次第、以下へお振込みをお願いいたします。

振込先
・金融機関　中央労働金庫　甲府支店
・口座番号　普通　1373476
・口座名義　連合山梨
注：備考欄に必ず「ふれあい基金」と記入願います。



※詳しくは、組合窓口へお問い合わせ願います。

ヴァンフォーレ甲府『ホームゲームチケット』の抽選について

指定席箇所　ＪＩＴリサイクルインクスタジアム
メインスタンド　Ｂ7列 102番・103番

申込方法　申込書(コピー可)にご記入のうえ、
観戦希望日2週間前の金曜日 午前中まで
に連合山梨へお申し込み下さい。
★連合山梨のホームページに掲載されているニュース No,422の申し込み用紙をご利用ください。

※ ご不明な点はご自身の加盟されている労働組合へご確認下さい。

2026/27明治安田J2リーグ　ホームゲーム日程

第18節	11 / 21（土）14:00	ヴァンラーレ八戸
第21節	12 / 5（土）14:00	サガン鳥栖
第22節	12 / 12（土）13:30	ブラウブリッツ秋田